



# 南条っ子

## 南条小学校だより

教育目標 ともに学び、豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条っ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

かっぱいやりぬく子

令和7年9月9日発行

第6号



## 2学期の始まりにあたって

記録的な猛暑となった夏休みを経て、9月1日（月）の始業式には南条っ子たちが元気に登校してきました。休業中は静かだった校舎に子どもたちの明るい声が響き、活気が戻ってきました。学校は子どもたちがいるからこそ、幸せな場所なのだと実感しています。始業式にあたり私からは次のような話をしました。

今日は2つのことを紹介します。

1つ目は花蓮が南条地区で栽培されるようになった歴史です。毎年夏休みの時期に咲き、たくさんの人の目を楽しませてくれる花蓮。今年<sup>いわざきしお</sup>は戦後80年という節目の年であることをニュースなどで耳にした人もいるでしょう。堂宮の岩崎義雄<sup>いんげんぎよらい</sup>さんは戦争に行き、船そのものが敵機に体当たりし爆破するしくみ、つまり自分も死んでしまう「人間魚雷」に乗り込む予定でした。終戦を迎え、幸いにも岩崎さんはこの南条に帰ってくることができましたが、それまでに100人の若者・仲間がこの魚雷に乗り込み、命を落としたのです。終戦後、岩崎さんは花びらが100枚あるといわれる「誠蓮<sup>まことばす</sup>」という蓮に出会い、栽培し、南条の地に広げたそうです。海に散った仲間と「誠蓮」の花びらを重ね合わせたのでしょう。今では岩崎さんも亡くなれましたが、今年も南条では、たくさんの蓮が美しい花を咲かせました。（福井新聞8/15「越山若水」に参考記事掲載）



2つ目です。南条小学校の2階のオーバブリッジに「かまくら」のような大きな作品があります。中に入って遊ぶこともあると思います。作品は、「和紙」という日本古来の丈夫な紙を使って作ってあります。あの作品は、この学校が約20年前に新築されたとき、<sup>かしおまさじ</sup> 鑄物師の美術作家、檀尾正次さんが南条小学校のために作ってくださったものです。長い間展示されていたので、ずいぶんと傷んで破れているところもありました。この夏休みの間に、檀尾さんのお孫さんで越前市の中学校で美術の先生をしている檀尾なお先生が修理をしてくださりました。暑い中で3時間ほどかけて作業してくださりました。大きな穴はなくなり、作品がよみがえりました。みなさんの後から南条小学校に入学してくる子たちのためにも大切に使いましょう。



さあ、今日から2学期。たくさんの行事が待っています。南条小学校は2学期もたくさんの先生方が皆さんを応援しています。みんなで力を合わせて頑張っていきましょう。

## ○ 夏休みの成果発表！

夏休み作品展（9/8～9/12）

今年も南条っ子の夏休みの作品を中ホールに展示しました。低学年はアイデア貯金箱などの工作、高学年は理科研究に取り組みました。工作は、身近な素材を利用しながら、夢が広がる作品に仕上がっています。高学年は、日常生活の中で疑問に感じていることや気になったことを観察したり調査したり、実験と考察を繰り返しながら発見に至ったことなどを丁寧に記載しています。子どもたちは自分や友だちの作品の良さについて話をしながら、楽しそうに鑑賞しています。保護者のみなさま、地域のみなさまも、ぜひご覧ください。ご来校をお待ちしています ※鑑賞時間8:00～18:00、13日(金)のみ13:25まで



## ○ 「読書の秋」を楽しみましょう

4日（木）から、ブックマさん（図書ボランティアの方々）の読み聞かせと紙芝居が再開されました。また、それに先立ち2日（火）にはブックマさん環境部の方が図書室の掲示物を秋のお月見の風景に模様替えしてくださいました。保護者のみなさまには、夏休みの「親子読書」へのご協力ありがとうございました。



## ○ 夏季休業中の教職員校内研修 ～QU・授業づくり～

1学期の教育活動を振り返り、2学期以降の取り組みを確認するために、教職員は夏季休業を利用して、校外で研修を受けています。



28日（木）には、「学級づくりと個別支援のためのQU活用」をテーマに校内研修を行いました。それぞれの学級集団が全体としてどのような状態なのか、個々の児童が困っていることなどを児童への質問回答から分析するものです。担任をはじめ、教科等で関わりのある教員が複数人で分析をし、具体的な取り組みを話し合いました。

同日、道徳科の授業について、授業時の「めあて」の持ち方、授業の流れなどをグループごとに「模擬授業」形式で実施し、方法を探りました。児童が自分で課題を設定し、思いや考えを伝え合うことを通して思考を広げ、学びを深める授業づくりを引き続き研究していきます。



先日、最近整備された鉢伏山トレッキングコース（365スキー場出発）を歩いてきました。登り始めはアップダウンが多く辛く感じましたが、木陰の涼しさに癒やされ、気持ちよく頂上に到着することができました。眼下に広がる日本海、敦賀の町、青い水島、若狭の山々…すべてが美しく感動的でした。



2学期は、南条っ子がたくさんの活動に挑戦します。仲間と力を合わせ、頑張った先にはしか見えない景色と思いを、その仲間と共有してほしいと願っています。2学期も教育活動へのご理解とご協力を、どうかよろしく願いいたします。